



# 武蔵野

学校だより NO. 8 - ①  
平成29年11月号  
昭島市立武蔵野小学校  
校長 岡部 操



## 11月はふれあい月間！

校長 岡部 操

秋も深まり、朝夕がめっきり冷え込むようになってきました。校庭西側の「武蔵野の森」も色づき始め、季節の移ろいを感じさせてくれます。

先月は体力向上推進月間でした。本校の運動会や地域ブロックの運動会等が開催されたところです。1学期に実施した体力テストの結果の報告がありましたので、学校、学年の傾向を分析し、体力向上につなげたいと考えています。また、学校では学芸会に向けて、各学年とも取り組みを始めています。行事を通して大きく成長する姿を、ご覧いただきたいと思います。

さて、毎朝子供が元気に登校できることは、とても大事なことです。実際には家庭でのこと、友達や担任（教職員）との関わりなど様々な思いをもって登校しています。つまり元気に登校できるかは、学校でどんな生活を送り、どんな経験をするかによっているところがあります。

一方で子供が元気に登校するためには、家庭や保護者の方が果たす役割にも大きなものがあります。登校しぶりや不登校の予防、解決の過程においても同様です。家庭とは子供にとって生まれてからずっと過ごしてきた大切な場所であり、学校へ行くためのいわゆる基地といえます。そこで、子供を家庭という基地から、学校という社会へ送り出すためのポイントを考えてみます。大事なことは子供の顔を見て、明るく元気に声をかけることです。一日のスタートである朝をどのように過ごすかは、その後の時間に大きな影響を与えます。例えば睡眠不足や天気が悪かったり苦手な教科があったりする日は、明るい気分になれません。そのようなことを吹き飛ばし、心に栄養を与えるのは「おはよう!」「さあ、ごはん食べよう!」等の家族の明るく元気な挨拶です。朝は大人にとっても忙しい時間帯ですが、子供の顔をきちんと見て毎日同じように「安定した家庭の朝の光景」を作り出すことが大切です。

次に学校で使うものは、しっかり揃えることです。子供にとって身の自立は重要な課題であり、安定した登校にするための基本的な前提条件の一つです。もちろん学校に持って行く物の準備を自分一人で行うことができるに越したことはありません。しかし、身の回りの準備が得意でない子は、そこで心身のエネルギーを消費してしまいます。そこで、保護者の支援が必要になります。

今月はふれあい月間です。教員も声かけを意識していきます。各ご家庭におかれましては親子のふれあい（声かけ）をよろしくお願いします。

朝晩の冷え込みで、体調を崩す子も多くなってきました。ご家庭でも、お子様の体調管理をよろしくお願いたします。